

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	スナック（経営者）	・客から、景気の悪い話が出なくなっている。来客数も順調に伸びてきており、このまま上向きで推移する。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・季節が良くなるので、地味ながらも日帰りや1泊の小旅行が増加する。
		スーパー（統括）	・来客数は、依然として110%前後の伸びを示している。単価の落ち込みは一段落しているため、客の買上動向さえ戻れば、今後は少しずつ上向く。
		衣料品専門店（統括）	・これから夏、秋にかけて好調に推移する。レジャー、祭などの商品については、購買意欲があるので、客の買物も順調に伸びていく。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車が発売になり、来客数、販売量の増加が見込まれる。
		一般レストラン（経営者）	・大型飲食店の進出による競争の激化で、各店舗が活気づいている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・リニューアルオープンするので、期待している。
		通信会社（社員）	・新規加入数の伸びはあまり期待できないが、非音声サービスや第3世代携帯電話サービスは、今後の成長分野である。
	変わらない	商店街（代表者）	・8月上旬のイベントに期待が持てるが、その後は伸び悩むので、変わらない。
		商店街（代表者）	・身近な会社が倒産し、商店街でもシャッターを下ろしたままの店舗が増加しているため、見通しは暗いままである。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・中元商戦も、贈答品の扱いは年々減少しており、回復の見込みは薄い。
		百貨店（販売促進担当）	・中元、歳暮のギフトが毎回低調で、前年割れが多い。今年は特に会社関係が厳しく、大手の法人の中元ギフトが中止になったり、中小法人でも、完全廃止が少しずつ出てきている。
		百貨店（販売促進担当）	・回復の兆しはないが、9月以降の企画の強化で、店舗の売上拡大は可能である。
		スーパー（店長）	・売上高は3か月前と変わらず、前年比95%程度で推移している。販売点数が、やや伸びてきているのが光明である。
		コンビニ（経営者）	・落ち込み分に早く手を打って、取り戻せば何とかなる。客とのコミュニケーションの密度アップが、今後のストア・ロイヤリティを左右する。
		コンビニ（経営者）	・学校が夏休みに入り、梅雨明けと同時に気温が上昇したため、現在は一時的に好調であるが、2、3か月後には、元の状態に戻ってしまう。
		コンビニ（店長）	・客は、特別お金がないわけではないが、必要でない物は買わない。購入しなくても特別困らないので、景気自体を底上げするような条件が見当たらない。
		衣料品専門店（経営者）	・本格的な夏の到来にもかかわらず、売上、来客数が大幅ダウンしているため、今後の秋物商戦には期待が持てない。
		衣料品専門店（店長）	・旅行や結婚式シーズンであるが、売上の取れるジャケットやスーツ等の重衣料の購入客が減少しているため、客単価や来客数の増加はあまり望めない。
		家電量販店（店長）	・現状の坪販売効率では、悪い部門もある。それを補って現状を打開することで、やや良くなる方向には進むが、何もしなければ変わらない。
自動車備品販売店（経営者）		・長い間、車の売買等が鈍っていたが、ある程度の時期が経つと、車も傷み、買替えや修理が発生する。11月ごろには、多少車が動くかと期待しているが、しばらくは変わらない。	
住関連専門店（店長）	・本来であれば、梅雨明けと同時に動くような商材が動かないため、消費は低迷したままである。		
旅行代理店（従業員）	・5月に学校の週5日制による個人客の増加を期待したが、依然として申込数が少なく、客は買い控えをしている。目的意識をしっかりと持ち、価格を重視する客の姿勢は、このまま変わらない。		
通信会社（営業主任）	・ケーブルテレビの加入率が高いエリアなので、未加入者の購買意欲を上げる材料を見つけるのが難しい。		
観光名所（職員）	・レストラン、ホテルの利用に対しては、客の儉約ムードが漂っていることから、来客数、単価ともに大きな期待はできない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		競輪場（職員）	・上向きになる兆候がない。競輪だけではなく、ボート、オートも厳しい状況が続く。	
		その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・依然として、法人客からの貨物関係の代替は一切なく、既存車市場の傾向は変わらない。部品交換でも、1年もてば良いとの回答が大半であり、従来型の予防整備は望めない。	
		設計事務所（所長）	・大口物件も終盤に差しかり、このままだと仕事が途切れてしまうので、今より良くはならない。	
		住宅販売会社（経営者）	・モデルハウスや現場見学会への来場客数が、前年並みとなっており、今後も変わらない。	
	やや悪くなる	一般小売店〔金物〕（経営者）	・同業者の閉店や倒産が多くなってきている。競争がし烈で、利益が取れない話ばかりである。	
		スーパー（経営者）	・来客数、買上点数の維持はできても、客単価の更なる低下現象は止められない。9月には大型店の出店があるために、大変厳しい競争を強いられる。	
		衣料品専門店（販売担当）	・客の会話の中でも、買物についての興味、好奇心、前向きさが全く感じられない。雑談はしていても、商品を買おうという意欲が感じられない。	
		乗用車販売店（販売担当）	・周囲が観光地なので、盆休みに期待をしているが、ホテル、ペンション関係の予約状況が伸び悩んでいるので、あまり良くなる要素はない。ホテル等が埋まらないと、車も当然売れない。	
		一般レストラン（業務担当）	・前年同月の宴会、コンパニオンの実績に比べ、予約数が減少している。同じ客の会でも、総客数が減少しており、先行きは厳しい。	
		都市型ホテル（スタッフ）	・先々の月に、エージェントから団体の宿泊予約が入っているが、最近では、当月になるとキャンセルや大幅な人数削減などがあり、エージェントの担当も非常に困っている。	
タクシー運転手		・改正道路交通法で、夜の客が増加すると思っていたが、逆に、飲み会など酒を飲む人が減少している。		
タクシー運転手		・周辺地区の大手企業の工場閉鎖が続いている。再就職のままならない時だけに、今後は更に家計が締めつけられて、利用客は減少する。		
悪くなる	ゴルフ場（副支配人）	・来場者数はやや上向きであるが、猛暑による固定費の増加により経費が膨らみ、相対的な収支はやや悪くなる。		
	商店街（代表者）	・街の中で、休業する店が多く、大きなビルの空き店舗の入店者もなかなか決まらない。		
企業動向関連	良くなる	-	-	
		やや良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・近くオープンする伝統工芸の美術館と提携し、体験教室を引き受けるので、来客数の増加が期待できる。
			一般機械器具製造業（経営者）	・中国への輸出を中心に、建設機械部品の生産が大量に増加する予定である。
	変わらない	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・秋口に立ち上がる予定の量産案件がいくつかあり、全体的に動きも活発化している。	
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・引き合い、見積案件が増加しているが、競争が激しく、受注単価は抑えられている。収益の増加は期待できないが、量は確保できるので、改善の余地が少し出てきている。	
		食料品製造業（営業統括）	・最近の工場見学者数が例年よりも少なく、1人当たりの売上金額も減少傾向にある。	
		化学工業（総務担当）	・業界の中に、以前ほど悲壮感がなくなっている。大きな動きはないが、少しずつ仕事が出てきている。	
		金属製品製造業（経営者）	・職安に対して、7月に当社で2名の社員を募集したところ、1週間で20名の紹介がきている。実態経済は相当冷え込んでおり、悪いままの状況が続く。	
	やや悪くなる	金融業（経営企画担当）	・IT関連等製造業の一部で、受注量の増加がみられるが、全般的には厳しい状況が続いている。	
		経営コンサルタント	・総需要は全く冷えており、回りまわって、企業の経営姿勢が臆病になっている。	
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	・新規のスポットコマースの引合いは出てきているが、長期的な大口コマースが見込めず、売上、利益とも伸びない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	・地元経済に大きな影響を与える、大手電機メーカー2工場の人員整理、更に同業他社の稼働率の低下が、非常に大きな問題となっている。地域には関連会社も結構あるので、しばらくの間は落ち込む。	
		輸送業（営業担当）	・季節が変わり、主力の飲料水関係の配送が減少する。先行きの運賃交渉でも、各取引先が利益幅を確保しようとするため、現状維持が厳しくなりそうである。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		新聞販売店〔広告〕 (総務担当)	・夏物衣料バーゲンにおいて、通常であれば次第に伸びていく売上が、今年は2～3日ですっかり伸びが止まっており、以前は多くあった衝動買いも極めて少ないと聞いている。 ・大手電機メーカーの工場閉鎖による早期退職や、新会社、関連会社への再雇用計画が発表されており、夫婦での勤務も多いことから、完全再雇用はかなり厳しい。
	悪くなる	一般機械器具製造業 (経理担当)	・7月に、同じ商工会議所に属する上場企業が倒産している。コストの安い海外生産に移行する大企業が、後を絶たない。
		輸送用機械器具製造業 (総務担当)	・新車の売行きが悪くなっている。3か月インフォメーションによる対前年比の受注減少は、8月が約20%、9月が10%、10月が15～20%となっており、更に、6か月インフォメーションでも相当落ち込んでいる。
		建設業(総務担当)	・情報の収集と足で稼ぐ営業に徹し、工事受注を達成しなければならない。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社(経営者)	・住宅関連の資材加工を行っている関連業種では、生産は伸びているが、求人の動きは今のところはない。小売関係、販売の方にあまり動きはない。やや良くなったと聞いている人件費等の賃金も、1割アップしているのは派遣関係のみである。
		求人情報誌製作会社(経営者)	・広い意味でのサービス業全体を含めて、求人広告は過去にないくらい低迷しており、2～3か月で回復するとは思えない。
		職業安定所(職員)	・管内の主要企業に、先行きについてアンケートを行った結果、良いと回答した企業が3.2%、さほど良くないが64.5%、悪いが32.3%となっており、しばらくは厳しい状況が続く。
	職業安定所(職員)	・一部回復してきた業種もあり、求人数も多少持ち直してきているが、安定した雇用に結び付かないため、全般的には足踏み状態が続く。	
	やや悪くなる	人材派遣会社(経営者)	・大手電機メーカーの2工場が3千人近くの希望退職を募っており、地方経済に与えたショックは大きい。昨年末に撤退した中心地の大型店に続き、市街地の商店街も閉鎖店舗が見受けられ、業種の転換も進んでいる。景気の先行きに、危機意識を強くしている。
		職業安定所(職員)	・大手電機メーカーの県内工場及びその関連企業で、大規模な人員削減を予定しており、多数の離職者発生が懸念されている。下請企業を含めて、地域の雇用不安が高まっている。
		民間職業紹介機関(経営者)	・企業は先行き不安から、固定費削減を更に進め、採用は、正社員から派遣、請負、パート、アルバイトにシフトしている。そのため、離職中の労働者は、希望賃金を大幅に下げた再就職を覚悟しなくてはならなくなっている。
		学校〔短期大学〕(就職担当)	・大手電機メーカーの2工場において、海外への生産シフトなどで3千名を対象とした人員削減がスタートし、雇用情勢の先行き懸念材料となっている。
	悪くなる	-	-